



保護者の意識向上を図り、家庭学習の定着・継続を！ 「親育ち応援学習プログラム」活用のススメ

課題 家庭学習時間の減少（中学生）・休日の家庭学習時間の量（小学生・中学生）

① 中1から中3で約10ポイントの減少			② 中学校 全国と約13ポイントの差			③ 小中ともに全国より低いポイント		
平日（授業以外）の家庭学習時間1時間以上			平日（授業以外）の家庭学習時間1時間以上			土・日の家庭学習時間2時間以上		
	H29全国調査 (管内 中3)	H27県調査 (管内 中1時)		管内	全国		管内	全国
中学校	56.3%	66.9%	小学校	68.5%	64.4%	小学校	18.3%	24.6%
	中1時より ▲10.6%		中学校	56.3%	69.6%	中学校	28.7%	41.8%
				全国より ▲13.3%			小中ともに 全国より 低い	

【H29全国学力学習状況調査「児童・生徒質問紙」結果より】

家庭学習

学校と家庭の連携により「**小学校で定着→中学校で継続・増加**」の流れをつくろう！

家庭学習に対する子どものやる気を引き出す関わり方を
保護者が主体的に考えられる最適なプログラム！

【プログラム名】 子どもの家庭学習について楽しく話し合おう！ ～探そう魔法の言葉・技～

家庭学習の習慣づけ等、保護者の子どもへの関わり方について
保護者同士で話し合いながら考えていく学習プログラムです。



やってみよう！

→ 市町村教育委員会にご連絡ください。親プロを進行するファシリテーターを紹介します。

親プロの活用を!!

体験した保護者の感想

- 自分のこと、子どものことを見つめ直すよい機会になった。
- やる気ダウンの言葉をよく言うので、意識して、やる気につながる言葉を使いたいと思う。
- 忙しいことを理由に子どもと向き合う時間が持ていないことに気づいた。少しでも時間を作るなど、親も変わらないと子どものやる気は引き出せないと感じた。

学校の感想

- 保護者の中には「他のご家庭はどうかしら」と普段思っているも尋ねられなかったことを、この研修で「次からこうしよう」「なるほど」と納得でき、良かったと感じられた方が多かったようである。
- 魔法の言葉や技を「今日から実践しよう」と意気盛んに帰られた保護者も多く見られ、好評であった。